

滋賀

GPN



滋賀GPNキャラクター エコペン

News

第32号 2017年8月
滋賀グリーン購入ネットワーク
ニュース



Shiga GPN
since 1999
滋賀グリーン購入ネットワーク

～滋賀から「グリーン経済」をつくる～



新しい活動期間を迎えて

会長 秋山 道雄

2015年6月の総会で、土屋前会長からバトンを引き継いではや2年余が経ちました。年間の行事を2ラウンド経験してみると、行事の多彩な内容に加えて、会員の皆さんが熱心に活動に関わっておられることが印象的です。滋賀グリーン購入ネットワークは、全国のネットワークのなかでも会員数が多いことで知られていますが、たんに会員数が多いというだけでなく活動の量と質の方に特徴があるという事で良いでしょう。

当ネットワークは、当初、環境配慮型商品の購入を促進するという目的で活動を出発させましたが、その後、環境に関わる問題や政策の対象が広がるにつれて、循環型社会の形成に関わる活動に加え、低炭素型社会の形成や生物多様性保全といったテーマに関わる活動との接点も出てくるようになりました。会員の自主的な研究活動にも、それが体现されています。2014年度から開始した「買うエコ大賞」に応募された企業の商品やサービスをみても、その内容は広い範囲に及んでいて、県民や企業の皆さんからも当ネットワークの関わる領域が広いものであると認識頂いていることがわかります。

今年度からは、新しい活動期間（2017年度～2019年度）に入るので、昨年度は理事や幹事の皆さんとともにこれまでの活動期間において達成できたことと今後の課題とを整理し、新しい「滋賀GPN活動ビジョン」をまとめました。滋賀から「グリーン経済」をつくる、というこれまでのビジョンは踏襲しつつ、会員の皆さんがフランクに会話を交わしながら自由に活動することを目指そうとしています。

2015年9月の国連サミットでは「持続可能な開発のための2030アジェンダ」が採択されましたが、その中核にある「持続可能な開発目標（SDGs）」の中には、当ネットワークの活動ビジョンとも関わる「目標12. 持続可能な生産消費形態を確保する」という項目が入っています。「目標12」の内訳を吟味してみると興味深い点が見受けられますが、新しい活動期間においては、こうした世界の動向との接点も視野に入れつつ、足下の活動をより確実に進めていきたいものと思っています。



第5回定時会員総会 議長を務める秋山会長

INDEX



- 新しい活動期間を迎えて 1
- 第3期役員紹介 2
 - ◎副会長、理事、運営体制図、アドバイザー、監事、幹事
- Report1 第5回定時会員総会を開催しました .. 3
- 新規会員からひとこと 6
- Report2 GPプラン滋賀「基礎研修会」「実践講座」 .. 6

- Report3 自治体のグリーン購入担当者連絡会議 ... 7
- Report4 生物多様性と環境・CSR研究会セミナー .. 7
- 滋賀GPN会員でつなぐリレートーク
株式会社エフアイ 7
- 会員発工コ商品情報 8
- 編集後記 8

一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク

第3期役員紹介



副会長

(公財) 淡海環境保全財団

理事長

力石 伸夫

引き続き一般社団法人3期目の副会長となりますが、法人化当時議論した、法人化してよかったと思われる法人を目指そうとしたことが、厳しい状況に直面して実感できるようになったのではないかと考えております。

3期目の活動ビジョンに活動理念を掲げました。この理念は、この組織が発足した当時から、皆さんが合言葉のように使われていたそうですが、改めて「みんなで、構えないで、楽しく」グリーン購入市場を創造していこうと活動（行動）理念を掲げたものです。みんなでもとに取組んでまいりましょう。



副会長

滋賀県立大学

環境科学部

教授

高橋 卓也

大学では環境経営、森林政策・計画について教育、研究をしております。20歳前後の学生諸君を見て思います。彼らが30年後、50歳になる頃に実現すべき、化石燃料の利用を8割減らし、生物多様性を保全する、真の持続可能な社会への道筋をつけるのは現役世代の責任です。滋賀グリーン購入ネットワークは、社会のすべての人々や組織が関わる「購入」という視点から出発して、地球温暖化対策、自然環境保全、社会的公正などの課題に取り組めます。できることから夢をもって動きましょう。

理事



株式会社平和堂

総務部 CSR推進室 室長

鷗鷗 真知子

弊社、株式会社平和堂は滋賀県を中心に展開させていただいている小売業です。現在では、企業活動と環境への取り組みは切り離せない存在になっており、環境に配慮した持続可能な活動はとても重要な課題です。今後も、滋賀グリーン購入ネットワークの活動を通じて、地域の一員として、環境活動の推進に取り組んでまいります。



株式会社沢田商店

代表取締役

沢田 昌宏

1999年に設立された滋賀GPNは、2年後に設立20周年を迎えます。これを機に、グリーン購入運動の新しい価値はどこにあるのか、滋賀から何を発信していけるのか、中小企業としてなにができるのかを、皆さんと一緒に議論しながら進めて行くことが大切ではないかと考えています。引き続き、共に歩みましょう。



特定非営利活動法人 碧いびわ湖

代表理事

村上 悟

びわ湖で赤潮が発生し、せっけん運動が巻き起こった1977年から今年で40年。6団体の連携で、せっけんを入りに循環型の暮らしへの転換を呼びかける「未来のセンタク」キャンペーンを実施しています。365日、当たり前続けられる「びわ湖の未来を育む暮らし」を創り、広める一年に。滋賀GPNの会員団体・企業の従業員の皆様とも、ご一緒したいと思います。



滋賀県

会計管理局 次長

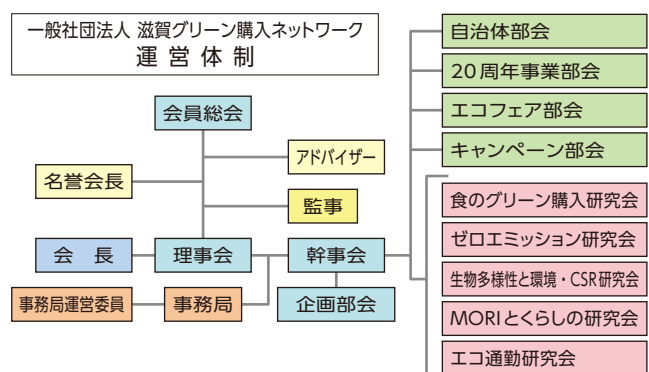
森 良和

2016年1月、「持続可能な開発目標(SDGs)」が正式に発効し、現在、世界的規模で様々な視点からの取組が進められています。これまで、滋賀県庁では滋賀GPN会員の皆様と一緒にグリーン購入を推進してまいりましたが、今後とも、環境への負荷が低減された社会の実現に向けて、積極的に取り組んでまいります。

旭化成住工株式会社 本社滋賀工場
RC管理部 部長

山田 忠仁

私たちは、ヨシでびわ湖を守る活動、ペットボトルキャップリサイクル活動など、様々な活動に取り組んでいます。環境面でも、太陽光パネル設置、ガスコジェネレーション設備の導入など低炭素社会づくりにも取り組んでいます。また、地域企業連携で生物多様性保全に取り組み、今年6月には弊社創設前のため池や湿地を再現したビオトープも完成しました。



アドバイザー



〔環境経済学〕
びわこ成蹊スポーツ大学
学長

嘉田 由紀子

知事退任後3年。学長を務めるびわこ成蹊スポーツ大学近くの湖畔に暮らし、毎朝びわ湖水で顔を洗いコップ一杯の湖水をいただきます。足場は3メートルほどの「橋板」。地元地区にこの橋板14基を設置する許可を県から頂きました。たった一枚の板が私たちの暮らしと琵琶湖をつなぎ、縄文・弥生の時代から受け継がれてきた水の文化の歴史を子どもの未来へとつないでくれる。びわ湖に感謝の日々です。



〔環境経済学〕
同志社大学
名誉教授

郡 寫 孝

循環経済をどうヴィジョン化するかは、我々の将来の経済をどう選択するか、ということです。わが国では、循環経済はリサイクル経済や資源効率の文脈で語られますが、「循環経済とは、単なるリサイクルを指すのではなく、イノベーションと新たなビジネスモデルを用いて全く新しい価値創造を実現すること（F.シーベスマ）」にあります。グリーン購入はその選択の鍵なのです。共に進めましょう。



〔消費者市民教育〕
東京都市大学
名誉教授

中原 秀樹

現在地球環境戦略研究機関（IGES）の持続可能な消費と生産（SCP）領域のシニアフェローとして、持続可能な調達、持続可能な消費、SDGsと企業の社会的責任に関する研究をしています。東京オリンピック・パラリンピックを透明性のある、あらゆる差別のないエシカルな大会とするためのエシカル推進活動も行っています。グリーン購入、持続可能な調達、そしてエシカル購入の発展の最大の敵であるグリーン・ウォッシュ（環境偽装）、エシカル・ウォッシュ（反倫理的活動）の無い市場づくりに注力しています。

監 事



公益財団法人滋賀県産業支援プラザ
常務理事(兼)事務局長

中西 道幸

滋賀県産業支援プラザは、中小企業の発展段階に応じた様々な支援を行っています。滋賀GPNの活動に賛同し、企業でのグリーン購入の取組がより一層、広がっていくことを期待しています。



株式会社滋賀銀行
総合企画部 CSR室長

辰巳 勝則

グリーンな消費・生産・サービスの拡大で、グリーンな市場を創出し、市場を通じて企業を変え、社会を変革し、持続可能な循環型社会の実現を目指す。滋賀GPNはこの目指すべき方向に向け、真剣に滋賀の未来を考えています。みんなで、一緒に、グリーンな未来を創造しましょう！

Report 1

第5回定時会員総会を開催しました

- 開催日：2017年6月2日(金) ●会場：コラボしが21 3階 大会議室
- 総会出席正会員数：294団体(うち出席104団体、委任状190団体) ●出席者数：135名
- 公開シンポジウム参加者：160名 ●会員交流会参加者：52名

シンポジウムでは、(株)伊藤園 常務執行役員 CSR推進部長 笹谷 秀光氏の基調講演とフロアトークから、企業活動におけるCSR・CSV・SDGsの取り組みについて考えました。

会員総会で自己紹介される新規会員の皆様→



幹事

幹事には、企業・各種団体・県および市町から29団体に組織としてご就任いただいています。



アインズ株式会社



常務取締役

谷 康夫

当社は、「グリーンプリンティング(GP)認定制度」の認定工場として、製造工程の環境配慮と、印刷資材の環境配慮を実施しています。滋賀から「グリーン経済」をつくるという滋賀GPNの環境負荷低減活動に共感します。

旭化成住工株式会社

RC管理部 環境安全課
担当課長

松宮 秀典

滋賀GPNでグリーン購入活動を続ける意味ってなんなのだろう?折に触れそんなことを考えてみる。環境にいいから。CSRだから…。でも、最後はいつも「ここが好きだから」という答えになる。

油藤商事株式会社



専務取締役

青山 裕史

滋賀GPNは当社がエコの分野に進出する機会を与えてくれた貴重な団体です。今期幹事として関わらせて頂くことになりました。OLD&NEWの考え方をしっかり浸透させられるよう頑張っていきたいと思います。

株式会社エフアイ



代表取締役

北野 裕子

弊社は環境に配慮したサービス事業を展開しています。メイン事業の「女性専用体操教室カーブス」は環境に優しい省エネ事業としても知られており、今後も「人と社会の健康」に取り組んで参ります。

近江鉄道株式会社

管理部IT・情報システム課
主任

石塚 加那子

当社の事業である鉄道・バス等の公共交通機関の利用促進に努めるとともに、地球にやさしい「エコ」な地域づくりをめざして、滋賀GPNの活動に積極的に取り組みます。

大阪ガス株式会社 滋賀事業所



滋賀地区副支配人

嶽釜 信一

大阪ガスグループは、我々のあらゆる活動が環境と深く関わっていることを認識し、事業活動を通じて環境との調和を図り、エネルギーと資源の効率的利用を実現することによって、持続可能な社会の発展に貢献します。

株式会社木の家専門店 谷口工務店



代表取締役

谷口 弘和

地域密着の工務店として、地域と環境と向き合い、快適に暮らせる社会に貢献できればという思いから参加させて頂きました。住まいづくりという枠を超え、共により良い未来をつくるお手伝いができれば嬉しいです。

新江州株式会社



営業支援グループ室長

中川 武司

新江州のルーツになる段ボール製品は、「循環型社会の超優等生」です。災害時に段ボール製簡易ベッドを供給する防災協定で、地域の安全・安心の一助になるCSV経営を目指しています。

株式会社ダイフク

本社部門 環境品質グループ
グループ長

横地 富重

当社は、環境ビジョンで「お客さま、社会、そして地球環境の保全に貢献」を掲げています。滋賀GPN「生物多様性と環境・CSR研究会」を通じ、各企業、団体等の連携で環境保全に努めます。

たねやグループ

株式会社たねや 環境企画室
係長

木田 幸司

パリ協定やSDGsなどグローバルな動きも活発になってきました。私達が出来るグリーン購入が担う役割も決して小さくないはず。食のグリーン購入研究会のリーダーもやっていますのでお気軽にお声掛けください。

日本電気硝子株式会社



環境管理部 部長代理

外間 喜春

グリーン購入の「グリーン」が大きくなるとなり、社会や経済の中へ広がっていく流れを感じています。「グリーンとは何か」この滋賀GPNの活動を通じて学んでいきたいと考えています。

びわ湖パナソニックファミリー会

パナホーム株式会社 本社工場
人事総務グループ
リーダー

石居 温

4月より前任者に引き継いで担当させて頂くことになりました。これから社内でのグリーン購入推進だけでなく、滋賀GPNとして持続可能な社会づくりに貢献できるよう取り組んで参ります。

びわ湖放送株式会社



放送管理局 報道制作部長

山口 秀富美

びわ湖放送は、おかげさまで開局45周年。「びわ湖を見つめ」「びわ湖を守り」「県民とともにびわ湖と歩む」をポリシーに、環境にやさしい暮らしについても、会員の皆さんと一緒に考えていきたいと思っています。

株式会社山久



環境事業部 部長

森田 基仁

本年4月より新たに幹事企業として参加させていただいております山久です。「人と地域に安心という名の信頼」を企業理念に掲げ、地域の皆様と共に成長出来ますよう提言してまいります。

山室木材工業株式会社



営業統括部

三宅 直子

創業50周年を向かえた当社は、木製パレット製造・木質リサイクルを通じ、循環型社会の実現を目指し事業に取り組んでおります。滋賀GPN会員様と共に、「グリーン経済」の創造に貢献していきます。

株式会社ヨシダヤ



代表取締役

吉田 近博

湖西地区で環境素材、事務機器、ICTソリューション、文具事務用品、印刷、オフィス家具、カリメラの水と多種多様に様々なお役立ちを提供しておりますヨシダヤです。第3期も幹事として頑張ります。

おうみ富士農業協同組合



食育園芸部 部長

川端 均

「身近なエコは、地産地消から」そんな思いで農産物直売所「おうみんち」を運営しています。地産地消のファンをつくることは、大事な使命のひとつです。企業様と連携した「企業内マルシェ」も好評です。

一般社団法人ガールスカウト滋賀県連盟



第7団リーダー

山岡 歩

ガールスカウトに携わってやがて50年になります。実践的な活動を通して少女の可能性を引き出し育てる団体です。GPNに関わって、活動の中にエコ学習も取り組んでいきたいと考えております。

滋賀県生活協同組合連合会



事務局長

藤田 豊

“エシカル(倫理的)”な消費生活をおくることと、自ら考え行動する“消費者市民社会”の確立に向けて、滋賀GPNの活動は、これからも大切な役割を担っていくと思います。

滋賀県地域女性団体連合会



常任理事

井上 多佳子

環境にこだわる滋賀県の社会教育関係団体として、学習をつみ重ねる実践に繋がりたいと願っています。びわ湖を守る石けん『エコワリーン』の利用拡大と共に、グリーン購入を地域でさらに呼びかけあいます。

滋賀県立大学グリーンコンシューマーサークル



代表

朝比奈 遙

グリーン購入を普及するために、学生の立場からできることを行っています。現在は地産地消をテーマに活動しております。わたしたちの活動を通して、多くの人の意識を変えられるよう努めてまいります。

循環型社会創造研究所 えこら



代表

藤田 アニコー

購入は未来への投票だと思います。あなたはどんな未来を選びますか？ Make that Change! 変化は自分から。一緒にステキな未来を実現しましょう～

滋賀県

会計管理局管理課
課長補佐

青木 純一

グリーン購入も今や、誰もが簡単に取り組める普通の取組となりましたが、その内容は幅広く、奥深いものです。皆さんと共に、今できる事、から着実に取り組んでいきたいと思えます。

湖南市



総務課 主査

島田 昌泰

湖南市では以前から一括調達する物品にエコ商品を導入し、環境配慮に取り組んでいます。今回、幹事市となったのを機会により多くの商品を取り入れることができればと考えています。

高島市



総務部総務課

桂田 卓実

高島市では、特に生ごみの減量に力を入れており、生ごみ処理機の購入助成や水切り促進の啓発活動を行っています。滋賀GPNでの活動を通じて引き続き環境保全に努めてまいります。

長浜市



総務部契約検査課 課長

馬場 博行

長浜市では、新庁舎に太陽光や地下水など自然エネルギーを利用するなど、環境にやさしいまちづくりの実現を目指しております。会員皆様と共に活動して参りますので、よろしくお願いいたします。

守山市



総務課 技師

西川 哲平

守山市では、CO2排出量が少なくコストの低い電力を購入する取り組みを行っています。また、滋賀GPNの活動を通し、グリーン購入促進をはかります。

多賀町



総務課

藤井 貴士

豊かな自然に恵まれた多賀町では、間伐材の利用推進や山林保護の取り組みを行っています。滋賀GPNの取り組みを通して環境保全への意識をさらに高め、活動の輪を広げていきたいと考えています。

竜王町



総務課 主査

村田 茂樹

グリーン購入は官民一体となり推進することでより環境保全活動の輪が広がると思います。持続可能な社会の実現に向け、会員皆様から学んだ事を活かせるように頑張ります。

新規会員からひとこと

2017年3月1日から
2017年7月31日までの入会者
(団体名の50音順)

あったかファミリーウェルパートナー

代表 西原 正幸

企業関係者及び一般既婚者のご協力を頂きながら、一組でも多くのカップルを結婚へと導けるように邁進してまいります。

&MIRAI

C.E.O. 新村 佳嗣

「コミュニケーション」と「考え方」をデザインして未来を創るワークスです。目に見えず手にとれないものをデザインしています。

株式会社FMおおつ

代表取締役 古田 誠

FMおおつは「想いをいつも共有したい」「人と人との接着剤になりたい」が経営理念の滋賀県で一番新しいFMラジオ局です。

M's AUTO

代表 森内 智弘

お客様・協力会社・地域の皆様から信頼される企業として、自動車業界でも環境に配慮しながら貢献できるように進めていきます。

草津市国際交流協会

事務局長 浦 幹夫

私達は多文化共生社会の実現に向けて活動していますが、国際理解の出前講座に環境問題を取り入れて啓発活動を継続しています。

サンライズ出版株式会社

藤本 秀樹

今まで知らなかった環境配慮に対する情報や、知識を得ることができて、大変良い活動だと思います。よろしくお願いします。

匠堂合同会社

代表・C.E.O. 北村 卓造

住宅を取得される方が未来に笑える家創りと、CO₂削減が同時にできるオリジナルブランド「ゼロエネルギーハウス「未来笑家」」を米原市で展開しています。

株式会社中山スポーツ

代表取締役 中山 博識

スポーツ関連の商品やサービスを通じて、地域の方々にイキイキとした心豊かなライフスタイルを提案・創造する事業を展開しています。

株式会社ひらつか建築

代表取締役 平塚 一弘

Made in Japanの誇りを持ち、技術とデザインの融合で、使い捨ての物の豊かさから、大切に長く使う心の豊かさへ。百年使えるものづくり。

現会員数：464 団体 [企業385、行政21、団体58] (2017年7月31日現在)

Report 2

GPプラン滋賀「基礎研修会」「実践講座」

グリーン購入を実践する事業者の登録制度「GPプラン滋賀」。登録者向けの支援プログラムとして、2017年4月から7月の間に以下の研修会を開催しました。

「基礎研修会」、「実践講座 前期1」

●開催日：2017年4月14日 ●参加者：「基礎研修会」10名、「実践講座 前期1」48名

実践講座 前期1では、滋賀県立大学 環境科学部 教授 井手慎司さんに「琵琶湖保全再生法と今後の琵琶湖の保全」と題してご講演いただきました。3月に策定された琵琶湖保全再生計画の概要、琵琶湖をめぐる開発と保全の歴史、今後の方向性について生態系や治水の観点も交えてお話しいただき、参加者は熱心に耳を傾けていました。



前期1講師：井手慎司さん

「実践講座 前期2」 ●開催日：2017年6月22日 ●参加者：36名

滋賀県 温暖化対策課 主任主事 竹内雅美さんと日産陶業株式会社 開発 代表 宮脇由直さんを講師に迎えて開催。初めに竹内さんから滋賀県低炭素社会づくり推進計画についてご説明いただき、省エネ行動など一人ひとりの身近な心がけが重要だと再認識しました。

宮脇さんからは、省エネ対策になる商品事例として、買うエコ大賞『大賞』受賞の「電気のいらない陶器の加湿器」についてお話しいただきました。地球環境問題が深刻化するこの時代に即した新たな商品をと開発された、開発時の苦労話などを伺いました。



前期2講師：宮脇由直さん

「実践講座 前期3」 ●開催日：2017年7月25日 ●参加者：42名

滋賀県 食のブランド推進課 参事 森野真さんと針江のんきいふあーむ 代表 石津大輔さんを講師に迎えて開催。森野さんからは、滋賀県が進める「環境こだわり農業」の歴史と意義、環境保全型農業としては全国1の広がりであることなどについてご紹介いただきました。

高島市で本格的な有機農業に取り組む石津さんからは、有機 JAS 認証取得にまつわる苦労話や、世界の農業使用量に関するお話等を伺いました。生き物と共に生きる農業の重要性について考えさせられ、感銘を受けたという参加者が多数おられました。



前期3講師：石津大輔さん

Relay
Talk

滋賀GPN会員でつなぐ

リレートーク>>>

株式会社エフアイ

代表取締役社長 北野 裕子



●創業から現在の事業に至るまで

弊社は1992年に写真の現像プリントの店を栗東市にオープンしたのが創業、その後県内に10店舗オープンしました。時代の流れとともに事業内容を見直し、事業ドメインを『人と組織の“健康”』へ移行するに至りました。現在は、「カーブス事業（女性専用体操教室）」「カラダファクトリー事業（整体）」「三方よし事業（研修セミナー・経営支援）」の3事業を営んでおります。いずれも省電力、環境に配慮した新しい事業です。

●カーブス事業における取組み

中でも第二創業の柱となった「女性専用体操教室 カーブス」における環境に対する取り組みは、チェーン全国1800店舗で方針を掲げ「省エネルギーによる地球温暖化ガス削減への取組み」を行っており、運動施設における適正な室温管理、営業時間外の省エネ対策など細部にまで至っております。

また毎年1月にご家庭にある食品（缶詰やレトルト食品、乾麺、調味料、お米など）を集め、地域の児童養護施設や母子生活支援施設、障害児施設などへお届けする「フードドライブ」活動を行なっています。2017年は1月16日（月）～2月15日（水）に実施、全国約18万7千人の参加者から約265トンの食品が集まり、全国675の施設・団体へ進呈することができました。

●環境を考慮した「三方よし」から「四方よし」へ

弊社の今後の事業展開において、近江商人の『三方よし』の「世間よし」に繋がる事業でなければ維持発展はできないと考えております。また「未来よし」をプラスした『四方よし』の考え方を大切にすることがより良い地球環境を創造するとも考えます。“健康”を通じて社会の問題を解決する企業として、環境問題に貢献しながら地域になくてはならない企業を目指して参ります。

次回は、油藤商事株式会社さんをお願いします。



女性専用体操教室 カーブス



2017年望年会にて

株式会社エフアイ

滋賀県栗東市安養寺6-1-44 エフアイビル2階
TEL：077-551-2531 FAX：077-551-2536
URL：<https://www.efuai.co.jp/>

Report 3

自治体のグリーン購入担当者連絡会議

●開催日：2017年7月7日 ●参加者：19名

自治体は異動により担当者が変わることが多いため、グリーン購入法の勉強会を兼ねて、毎年連絡会議を開催しています。今年も環境省 環境経済課 課長補佐 荒木肇さんをお招きし、グリーン購入法と環境配慮契約法について解説していただきました。また、京都市の地球温暖化対策課長 安田真也さんから、グリーン購入の取り組みを含む京都市の環境への取り組みについてご報告いただきました。



Report 4

生物多様性と環境・CSR研究会セミナー

●開催日：2017年7月12日 ●参加者：38名

滋賀県の『生物多様性しが戦略』を学び、森林保全、農業支援、生き物観察の3分野における、県内企業の取り組み事例と県関係課の報告をセットで学ぶ交流セミナーを『生物多様性と環境・CSR研究会』の企画により開催しました。アンケートには「県と企業の活動を組み合わせた形式は興味深かった」「参考になった」「活動の舞台裏がたくさん聴けて面白かった」等の意見が記され、参加者に高い評価をいただけたことが分かりました。





会員発工コ商品情報

次号掲載
「エコ商品情報」
募集中!

ホタテ健康壁 「あわせシリーズ」

株式会社 ブルーム

天然素材のホタテ貝殻が原材料の健康壁。ホルムアルデヒドやVOC揮発性化学物質を吸収、分解し、放出しません。

- 通気性・調湿効果があり
結露、カビの発生を抑制します。
- 断熱効果があり
省エネルギーに貢献します。
- 無機質なので
有毒ガスの発生がありません。



施工例

1. あわせ (左官仕上げ)
施工面積約 5㎡/袋・定価 10,000円
2. あわせパウダー (ローラー仕上げ)
施工面積約 60㎡/袋・定価 35,000円
3. あわせスーパー (左官、ローラー、吹き付け仕上げ)
施工面積約 10㎡/袋・定価 23,000円



あわせスーパー施工例

〈お問合せ〉株式会社 ブルーム

滋賀県守山市守山3丁目20-46 ハシモビル
TEL: 077-584-5529 FAX: 077-584-5589
E-mail: info@awase.jp

雨水利用システム (洗濯・トイレ・散水等) 小型雨水タンク (散水・非常用水等)

特定非営利活動法人 碧いびわ湖

屋根に降る雨を集めて貯留し、毎日の暮らしの中で使います。小規模な庭の散水や雑用水利用 (2~10万円程度) から、洗濯やトイレなどの家屋内利用 (20~60万円程度) まで、ご希望の用途や、建物の条件、コストなどに合わせて、カスタマイズしたご提案をさせていただきます。業務用についてもご相談ください。



- 水道使用量を減らし、
間接的にCO₂排出量を削減します。
- 災害時の非常用水源として役立ちます。

※2014年5月に「雨水利用推進法」が施行され、行政、事業者、国民すべてが雨水の利用に努めることが定められました。

〈お問合せ〉特定非営利活動法人 碧いびわ湖

滋賀県近江八幡市安土町下豊浦3番地
TEL: 0748-46-4551 FAX: 0748-46-4550
E-mail: info@aoibiwako.org

編集後記

4月より幹事をさせていただいております。弊社は機械工具の販売商社です。どちらかといえばグリーン購入商品を販売する側になります。

さて今回幹事になって初めて滋賀GPNの行事の多さに驚いております。そしてその行事の裏方を支える事務局の皆様へ改めて敬意を表します。今回その裏方に幹事として参加することが出来て大変ではありますが、逆に感謝申し上げます。幹事としての活動を通して様々な方々との出会いがあり、普段はお付き合いのなかった様々な業種の方々と交流ができて、自分自身の成長へと繋がっていると感じております。

また、キャンペーン部会に参加する中で、千差万別のすばらしい意見から少し消極的な意見まで、本当に色々な考えがあるのだと今更ながら思います。そしてそこから共通な部分を見つけ出し行動していくのが現状の役員、幹事の務めだと思っています。「なぜ出来ないのか」を考えるより「どうしたら出来るのか」を考えることにより共通な部分が生まれて来るのだと思います。前向きに物事をとらえ建設的な意見交換が出来る場を皆様と共に作りあげ、滋賀GPNが更に発展出来るように、微力ではございますが努力してまいります。今後ともよろしくお願いいたします。

(幹事 / 榊山久 森田 基仁)

グリーンコンシューマーサークルでは、グリーン購入の普及のため学生の立場からできることを考え、行動しています。現在は前年度から引き続き、地産地消の普及活動として生産者訪問に力を入れています。主に大学がある彦根市を中心に様々な生産者さんへ取材を行っています。訪問時にお世話になった農家さんを通じて野菜を仕入れ、学校祭にて野菜市を開催する活動もしました。

「子どもたちが安心して食べられるようなものを作りたい」、「味にこだわるのは当たり前。納得いかないものは出さない」といった生産者さんのこだわりや熱い思いに耳を傾け、記事にしてHPやSNSで発信する。このような私たちの活動を通して、地元の生産者さんを身近に感じ、興味を持ってくださる、生産者さんのファンが一人でも増えればと思います。

私個人としても、他サークルの活動で野菜を育てていて、この時期一番苦労しているのは雑草です。1回生のころは一生懸命鎌で刈っていましたが、作業に慣れた3回生の夏は草刈機が手放せません。体験してさらに農家さんの苦勞が身に沁みます。ものを作るだけでなく、その先の「こだわり」による価値を伝えるには、どう表現すればよいのか。いつも悩みながら記事をまとめます。記事を読んでくださる方へ一人でも多く思いを伝えていければと考えています。

(幹事/滋賀県立大学グリーンコンシューマーサークル 田出 瑞季)



編集・発行 / 一般社団法人 滋賀グリーン購入ネットワーク

〒520-0807 滋賀県大津市松本1-2-1 大津合同庁舎6階 TEL: 077-510-3585 FAX: 077-510-3586
Eメール: sgpn@oregano.ocn.ne.jp URL: http://www.shigagpn.gr.jp/